

三原市立大和中学校区で育成を目指す情報活用能力(整理・分析)に関する各教科の具体例

～技術・家庭科(技術分野)～

学 年

中学校第1学年

単 元(題 材)

生物育成の技術

内 容

B(2)ア 安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができること。

B(2)イ 問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。

見方・考え方

生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化すること

学習目標

道具・肥料の特徴を整理し、自分の栽培目標を達成するために折り合いをつけて最適な物を選択することができる。

整理・分析の型

10 メリット・デメリットの視点で整理・分析する

整理・分析の具体

誘引の紐・肥料の選択肢のメリット(○)・デメリット(×・△)

		社会	安全	環境	経済
誘引の紐	ワイヤー入りビニール紐	○作業がしやすい		△繰り返し利用できるが、外れた場合土に還すことができない	中学校1年生であるため、 観点を絞る。
	麻紐	△作業がしづらい		○外れても土に還すことができる	
肥料	有機質肥料	○ゆっくり長く効く ○自作できる ×速効性はない ×匂いがある	○オーガニック野菜を栽培できる	○天然由来であるため、土壌の微生物の活動を活性化し、土壌の改善をする	
	化学肥料	○素早く効く ×効果が続く期間は短い ○匂いが少ない			

上記のような表を作成し、栽培目標を達成するために折り合いをつけて最適な物を選択する。